

一般質問

佐渡市の道路整備における遠隔辺地対策の現状



大石惣一郎議員

しく難航している。交付金は $\frac{1}{2}$ を集落共同取組活動費に使用するように指導している。

(市長) 佐渡市人材育成基本方針をもとに、職員研修概要を作成中であり、項目ごとに完成次第職員に周知し実施する。

(農林水産課長) 水田農業ビジョンの中で法人化する集落には、30万円の地域づくり交付金を支給する。

(質問) 市職員の研修マニュアル・住民対応マニュアル等はあるのか。

対応マニュアルも作成中であり、策定された項目研修を実施しているが、住民からの苦情が多く、窓口対応や電話応対の研修を実施しているが、から職員に示す。

(質問) 県道佐渡一周線改修・整備工事における佐渡市からの県要望優先順位はあるのか。あるとしたらその基準・根拠は何か。

基準は何か。また、市道整備における集落負担はあるのか。

携し条件の整った組織から進める。集落営農は、中心となる人材確保が難

(市長) 県の社会資本整備プログラムに沿って、工事を進めている。優先順位は危険な箇所・緊急を要する箇所を優先して計画が作られている。佐渡一周線の整備・改修は全島民の願いであり早期完成を要望していく。

市道改良率は、45・26%、舗装率は59・79%である。新市建設計画に基づき路線の重要度・必要性に応じてランクづけを行い、年次計画で整備。市道整備についての集落負担はないが、市道でも、県営事業による農道整備事業は、一部市の負担がある。

特に、一周線前浜地区は、非常に危険なところが残つていて懸念している。

(質問) 新たな中山間地域直接支払制度への佐渡市の基本的指導方針・具体的支援策はあるのか。

(質問) 市道の改修整備工事の進捗状況・整備順位



危険箇所だらけの佐渡一周線前浜地区



2月11日大崩落した県道岩首～松ヶ崎間